

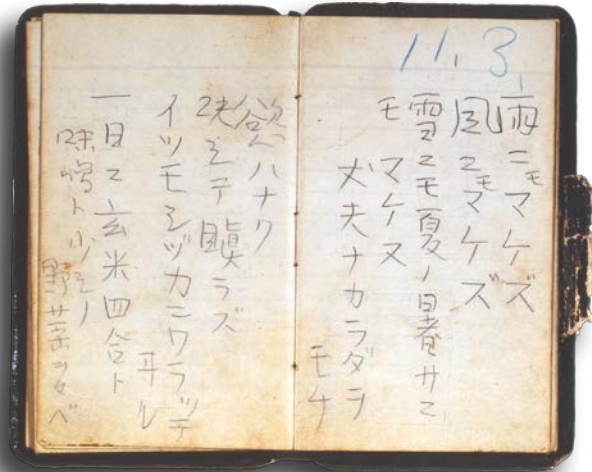
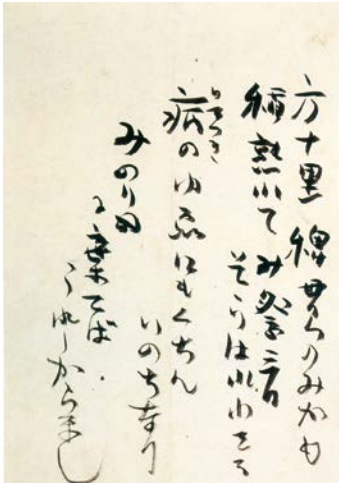
★ 詩人・童話作家の宮沢賢治 (1896 ~ 1933) による「雨ニモマケズ」は、東日本大震災後、広く世界に発信されました。無力の自覚にたつて他者を思いやり、助け合う精神が再認識され、彼の作品があらためて注目されています。

本展では、1924 年からの 10 年間、賢治の宇宙と心平の天が重なりあった生前交友に光をあてながら、心平が広めた賢治世界の魅力を紹介します。★



宮沢賢治 心象スケッチ『春と修羅』 1924年4月  
草野心平愛蔵の一冊で、背表紙が欠けている

①宮沢賢治「絶筆二首」  
死の前日の1933年9月20日に書きつけた



②宮沢賢治「雨ニモマケズ手帳」 文学作品の草稿などのほか、賢治の祈り「雨ニモマケズ」が記された

「銅鑼」第4号 1925年9月  
草野心平の同人勧誘に応じた宮沢賢治の作品が  
初掲載された雑誌



宮沢賢治の水彩画



③「日輪と山」



④「無題 (赤玉)」



⑤「無題 (ミミズクの絵)」



⑥「無題 (ケミカルガーデン)」



⑦「無題 (月夜のでんしんばしら)」

宮沢賢治資料特別展示 (期間限定) ※期間前後は精密複製を展示します。資料貸出 林風社

- ②「雨ニモマケズ手帳」 7月7日(土)~7月20日(金)
  - ③「日輪と山」 7月18日(火)~7月29日(日)
  - ④「無題 (赤玉)」 7月24日(火)~8月5日(日)
  - ⑤「無題 (ミミズクの絵)」 7月31日(火)~8月12日(日)
  - ⑥「無題 (ケミカルガーデン)」 8月7日(火)~8月19日(日)
  - ⑦「無題 (月夜のでんしんばしら)」 8月14日(火)~8月26日(日)
- ①「絶筆二首」、「孔雀印手帳」、高村光太郎「雨ニモマケズ」詩碑書の3点は全期間展示

同時開催 安齊重夫の賢治ファンタジー  
(アートパフォーミングスペース)



文学館えほんのひろば

アトリウムロビーには、宮沢賢治の絵本がいっぱい。どなたでも無料でご利用いただけます。ぜひお楽しみください。

